

令和4年7月～令和5年2月

分析・解析については参加者の職場で実施し、打ち合わせはオンライン会議やメールベースで「部局・分野横断技術交流会」を開催しました。

【目的・分析】

コーディネーター：

工学研究院(令和4年7月当時) 遠堂敬史, 創成研究機構 武田希美,
創成研究機構 徳光 藍, 創成研究機構 岡 征子

有機微量元素分析装置の利用時におきたトラブルの原因と考えられる未知物質を題材にし、その組成や生成原因などを共同で解明するプロセスを通して互いの分析技術や知見を共有し、異分野ネットワークによる研究支援力強化に資する事を目的とした交流会を実施しました。初めに分析対象についての説明を行いました。次に参加者がそれぞれ担当している分析装置の情報を照らし合わせ、破壊・非破壊分析か、あるいは大気中・真空中での分析となるか、前・後処理の有無などを含めディスカッションを行い、分析方法の方針を固めました。その後、ラウンドロビン・テストの要領で蛍光X線分析、走査電子顕微鏡、有機・無機質量分析などを行いました。

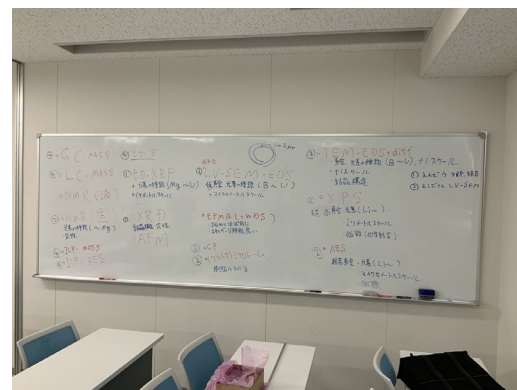
分析開始当初は、苦勞せずに分析して終わるのではないかと見込んでいましたが、夾(きょう)雑物の状況などから一筋縄ではいかず、分析業務の奥深さを実感しました。また、本交流会をきっかけに、日々の業務において担当部署で対応できない内容についても相談できる相手が多かったことは、今後の業務にもつながるものと考えています。

本技術交流会は、コーディネーターとなった技術職員からも、試行錯誤しながら事前に準備したことは、何事にも代えがたい貴重な経験になったという感想が聞かれ、本事業の目的に寄与できました。また、分析検体の前処理にご協力いただきました、理学研究院・薄片技術室には厚く御礼申し上げます。

(参加者 理学研究院、工学研究院、触媒科学研究所、創成研究機構に所属している
分析業務担当の技術職員5名)

CoSMOSでは、技術職員が自ら企画、運営、講師を担い、各自の持つスキルの継承・伝達・強化を図るとともに、異分野交流による技術職員同士の全学的な人材交流・技術情報交流・技術強化を目的とした技術交流会企画コーディネーターを募集しています。詳細はHPでご確認ください。

企画フォローアップはマルチスキル人材育成プロジェクト担当が行っております。
CoSMOS HP <https://cosmos.gfc.hokudai.ac.jp/>



研究支援人材育成プログラム実施専門部会 マルチスキル人材育成プロジェクト

実施専門部会長：岡 征子 創成研究機構
担当：高塚 徹 低温科学研究所
委員：佐藤 浩幸 北方生物圏フィールド科学センター
委員：遠藤 礼暁 電子科学研究所
委員：佐藤 陽亮 低温科学研究所
委員：阿保 憲史 アイントープ総合センター